



〈ひとこと〉今年初めて口にしたのは？私は間違えて飲み込んだ「歯磨き粉」 みなさんは？

第4回 あいネット運営委員会

『くらしの快適さ、不便さ』 12/16(水)開催

十二月十六日(水)一三時三十分
十六時三十分 柏市中央公民館
集会室2にて、運営委員会を行いました。今回は拡大運営委員会。ゲストスピーカーを多数お招きして「市内でのくらしの快適さ、不便さ」と題して、障害を持つながらもサービスや制度を利用しながら地域で生活をしている「障害者グループホーム・ケアホーム(以下「GH」・「CH」)、*生活ホーム(県単独事業)で暮らしている方」、「アパート等で一人暮らしをしている方」、その方々を「サポートしている人たち」の座談会を開催しました。また、障害者グループホーム等支援ワーカー佐々木さん(野田圏域)、竹村さん(松戸圏域)から、昨年度活動報告と「GHでの生活」についてお話しがありました。(資料などは、あいネットにございます。ご希望の方はご連絡ください)

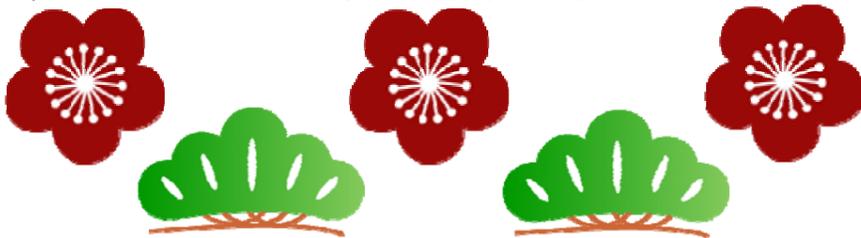
以下「座談会」の報告です。
(▼は設置者等より)

○GHにて生活(男性)「仕事には東武線を通っています。タオル工場で水・土曜日が休みです。GHでは仲良くやっています。(そうじについて質問)会社に勤めていて、嫌になることもありますが、土日にみんなをやっています」(▼「各部屋の掃除は(基本的に)本人に任せています。(積極的に)世話人が行うことはありませんが、あまりにも汚いときは一緒にやります」

○三年前からひとり暮らし(女性)「実家よりストレスが少なく、自分の時間が持っています。日中は作業所に通っています。困っていることは、これから他のアパートに引越そうかなと思っていますが、大家さんと不動産屋さん(から障害についての理解がもらえず)、なかなか部屋を貸してくれないこと。あと、夜がさびしく、メールしてテレビをみて…」

(▼「親に見放された者や親が過保護な者、自分の自由を求めてたどり着く。本人に「生活スタイル」はどうしたいのか?を聞いて、「一人暮らし」へ。また、てんかん発作が多く、親から「出て行くよう」に言われ、今一人暮らしをしている方もいるんです」

○十一年目の一人暮らし(男性)「自分の家での生活には満足していますが、外に出ると(電動車イスにて)歩道が、車道との高さの違いのために、駐車場の入り口に急な坂道があったりして(電動車イスの)走行中、(体が)斜めになって。こんな場所が多く存在する。バリアが多い」



ちいば地域で「いっしょーとーく」お休みしました。

柏市 バリアフリー基本構想検討協議会

協議会が5回目を迎える今回は、4回行われたワークショップのまとめを踏まえ、柏市バリアフリー基本構想(案)の提案がされました。バリアフリー新法に基づき、重点整備地区(柏市内の駅周辺地区10ヶ所と沼南庁舎周辺地区)を設定し、その地区内において、徒歩による移動に利用される経路のうちバリアフリー化の必要性が高い経路を設定しています。

バリアフリーの推進に向けては、計画づくり・設計→実施→評価→評価を踏まえた改善が継続的に行われる必要があります。この積み重ねの各段階で、①市民・行政が継続的に関わっていくことが重要であり、②利用者(市民)意見を反映させる仕組みづくりやその進捗を継続的に管理する組織作りも必要だとしています。

この2点をぜひ実現していきたいものです。重点地区以外でも整備が必要な場所がいろいろあります。大きなお金をかけなくても改善できる場所はやっていくとのこと、そういった声を集約していきける仕組みが必要です。2月1日からはパブリックコメントの実施になるとのこと、この基本構想の計画期間は、平成22年度から平成37年度までの15年間とされています。

関心の高さをパブコメに表したいものです。

○CHにて生活(男性)「日中は作業所で名刺作成やカゴを作っています。地域でのお祭りなどに参加して、(つくったものを)販売をしています。CHでは木曜日が掃除の日です。世話人と話しをした日、テレビを見たりしています。困っているのはCHや実家の近所に(電動車イスが通行できるような)歩道がないこと、ポールは立っただけでも狭くてすれ違うことが出来ないこと」

(▼「CHでは、日中近所の主婦の方たちが食事づくりや掃除などを手伝ってくれています。現在、部屋が一つ空いているので、自立のために体験利用が出来る場として一泊二食800円(お風呂利用は1,000円)で開放しています。単身での生活をしている方も増えてきているので、他の機関と協力をしながら地域に増やしていきたいように考えています」

○生活ホームにて生活(男性)「今、ここで生活をして4年目で一般就労をしています。親に育ててもらえなくて、お金を使い込まれたりして、僕は施設めぐりをしています。今はお金の管理もしてもらえ安心があります。いろいろな事を相談できます。夢は一千万円たまったら、結婚して一人暮らしをしたいです」(▼「家族が見放した人、お金を取られた人、異性関係のトラブル…心が傷ついた人が来ています。ふつうの暮らしが出来るまで3年くらいかかります。最近、困っていることは、食事が好きすぎて…太ってしまっただけのこと。糖尿、高血圧、病気が心配です」

「やむを得ず」の暮らしから、「障害があってもなくても、大人になったら親から自立して生活をする」この地域で実現していけるようになればと思います。



とくべつに 今、始まったことじゃないっ!

最終回

～日々のご相談から、感じること～

『高等部に進学して、課外活動に参加。今までスクールバスや事業所の送迎を利用して、日中一時支援を使っていました。でも下校時間が延びたので、送迎サービスが使えません。本人は何度か練習すれば、一人で歩いていけると思うのですが…どうしたらいいのでしょうか。うちは共働きなので一緒に行く事はできなくて。やっぱり課外活動は控えた方がいいかな。なるべく参加させたいんだけど』

本人・保護者から「課外活動に参加したい(させたい)」というお話を聞いて、ボランティアさん、学生さんなどと協力をして、学校から通所先までの帰り道の同行を数ヶ月間サポートしてきました。先生方も「なんとかひとりで」行けるようにとの思いで、われわれに本人への注意の仕方から関わり方まで指導してくれました。たとえば「NO」を伝えるときには「いけません」と向き合うよりは、「明日の(給食の)おかわりは、なしです」と言ったほうが今は聞くかもね。なんて具合に、われわれと密に話し合いを持っていただきサポートをしてきました。またお母さんからこれまでの数々のエピソードをうかがい、今後も彼はこうして少しずつ可能性を広げていける機会をつくることの大切さを再認識しました。

ここで一言物申したく、お付き合い下さい。



(制度として)「定期的に通うところへの外出支援は出来ないんです。たとえば、学校の送り迎えとか会社の通勤とか」私は支援費制度のころから、この「出来ないんです」という「いんです」というニュアンスに期待を持っていました。「(今は)出来ないんです」って感じて。その私のあわい思いは甘かったと『反省』。

これまでこのようなニーズに出会ったとき、「こっそり車使っちゃえとか、他のサービスを利用している人たちと一緒に車に乗っちゃおう?」とか、地域は苦心してニーズに応えています。みな制度から片足出して、無茶を承知で「今、必要なこと」に応えている。

制度やサービスが後からついてくることは分かっています。ただ、この通勤・通学に関するアクセスの保証については、こんなにニーズがあるのに、いつまでぐずぐずやってんの?という気持ちになってしまいます。

・父子家庭。おばあちゃんが(多動な)孫をバス停まで迎えに行くとき、体がきついという訴え。「まだ(本人は)中学生だし、バス停まで迎えに行けなければ、学校に行けないってことだから入所かな」おいつ!マジで。そんな地域なの?そんならこっそりやってくれるHH事業所を探すよ。

・仕事が決まった。でも車イスを利用しているから通勤のときに不安で…だれかにサポートをお願いできないかな。「一人で通勤できないなら、仕事をあきらめるしかないかな」おいおい本気かよ!「じゃあ有償のサービスがあるかな」毎日、利用したら通勤費が給料を越えるよ!!などなど。「通学・通勤の保障」を「出来ないんです」のままでいいのでしょうか。定期的に通うところがあって、初めて安定し「良し悪し」があって生活があるって思います。なんとかならないのでしょうか。今に、はじまったことではないんです。

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
■「傾聴の学び」カウセリング講座 「心を聴くために大切なこと」 午前「人との出会いは自分への気付き」 午後1「対話の中にそっと忍ばせる元気の素、希望」 午後2「人の心を結ぶ、愛のゆるし」 講師:カウセリングルームL&F代表 竹前 ルリ先生	1/23(土) 9:30 ～16:00	けやきプラザ 7 階研修室 (JR我孫子駅南口徒歩1分)	2,999 円 ※当日受付で支払い	必要 定員 40名 右記参照	<お問い合わせ、お申込み先> NPO法人ホスピスケアを広める会 〒277-0832 柏市北柏 1-2-7 少名子ビル 1F でんわ・FAX:04-7163-0634 (電話は月～金曜日の 10:00～12:00 まで) メール: zaitakucare04@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://hoscare.web.fc2.com/
■高次脳機能障害を理解する ～私たちにできること～ ▼「高次脳機能障害の理解」▼「ガチ☆ボーイ」メイキングビデオ・インタビュー▼「地域での支援を考える」▼「当事者から伝えたいこと」	1/23(土) 13:00 ～16:00	東京・有楽町朝日ホール 東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11 階 (JR有楽町駅から徒歩2分)	無料	必要 600名	参加希望の全ての方の①お名前②ご住所③電話・FAX④ご職業を明記の上、ハガキまたはFAXでお申込ください。 <お問い合わせ、お申込み先> 朝日新聞厚生文化事業団「高次脳機能障害」係 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 FAX:03-5565-1643 ホームページ: http://www.asahi-welfare.or.jp/
■高機能自閉症・アスペルガー症候群のための支援 『青年期の支援を支える ～学校・家族の支援～』 講師:鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授 井上 正彦氏	1/30(土) 13:00 受付開始 13:30 ～16:30	きぼーる13F ビジネス支援センター会議室 千葉市中央区中央 4-5-1 (千葉都市モノレール葭川公園駅より徒歩4分)	会員 (will クラブ・千葉県自閉症協会) 1,000円 非会員 3,000円	必要 定員 120名 ×切 1/9	お名前、住所、電話番号、所属を記入して電話、FAXまたは電子メールにて(下記)へ千葉県発達障害者支援センター(CAS) メール: cas@mue.biglobe.ne.jp でんわ:043-227-8557 FAX:043-227-8559 共催 千葉県自閉症協会Willクラブ事業部 千葉県発達障害者支援センター
■第一回 千葉県グループホーム大会 ～障害のある人の住まいを考える～ 「障害のある人の町の暮らしを支える」 講師:社会福祉法人 北海道社会福祉事業団 太陽の園 総合施設長 小林 繁市氏	2/9(火) 12:30 ～16:30	千葉県庁中庁舎 10 階 大会議室	無料	定員 200名 ×切 1/26	申込書(あいネットにあります)ご記入の上千葉県健康福祉部障害福祉課地域生活支援室(FAX:043-222-4133)までお申込みください。 <お問い合わせ先> 中核地域生活支援センター 海匠ネットワーク(担当:庄司) でんわ:0479-60-2578